

2010 夏季闘争

夏季一時金をカットなしで支給せよ！
勤務時間の15分短縮をただちに実施せよ

今季夏季闘争の重点要求
第1は、夏季手当をカットなしで6月30日に支給することです。通算12年間に及ぶ給与抑制・一時金のカットと2008年8月から平均13%の大幅な人件費削減、09年度一時金の0・35ヶ月削減などによって、



府労組連は、5月27日開催の定期大会で、今年度の運動方針とともに今季夏季闘争の方針と要求書を決定したたかひの意思統一を行いました。また、5月31日に橋下知事に対し要求書を手交し、第1回の団体交渉を行い、今季闘争のスタートをきりました(詳細は「府労組連ニュース」10年5月31日号参照)。

夏季要求実現に向け全力でがんばろう

第2の要求は、時短の早期実施と保育休暇の復元です。2月議会において、「1日の勤務時間を7時間45分、1週間の勤務時間を38時間45分」とする条例案が決定されました。しかし、いつから実施するかについては明らかにしていません。府労組連は早期の実施に向けた協議を直ちに行うよう求めるとともに、保育休暇廃止によって失われる15分の実質的回復措置を求めます。

第3の要求は、育児休業法の改正等に伴う「子の看護休暇」の拡充や「短期の介護休暇」の創設です。民間の育児介護休業法や地方育児休業法の改正施行日である本年6月30日にあわせ、人事院規則等の改正が行われ、また、大阪府においても条例事項に係る部分は5月府議会で可決されました。しかし、人事委員会規則等に係る特別休暇は夏季闘争にゆだねられています。現行制度の後退をさせず、国に遅れをとらず、「子の看護休暇」の拡充と「短期の介護休暇」の創設を求めるとともに、特別休暇の復元・拡充を求めます。

第4の要求は、非正規職員の待遇改善と正規職員化です。非常勤職員の賃金は

社会保険料等を差し引くと時給で最低賃金を下回る官製ワーキングプアそのものであり、賃金の引き上げなどの待遇改善が求められます。また、「官から民へ」「正規から非正規へ」の構造改革の流れを断ち切り、府民サービスの向上と公務の継続性や安定性を確保するためにも恒常的な業務を担っている非正規職員を正規職員に切替えることが求められます。

第5の要求は、大阪維新プログラム案撤回、財政再建プログラム案に基づく給与や一時金のカット中止と「財政構造改革プラン」における公務員制度改革と給与抑制攻撃反対などの課題

現評は5月17日に府当局と要求書交渉を行いました。まず、退職後不補充や民間委託化について、①業務があるのに委託化はおかしい、②現業も府民施策の一翼を担っており委託化は府民に対する責任の放棄、③

府職労現評が当局と団体交渉
退職後補充・副主査問題・病院派遣問題で当局を追及

6月21日の山場に向け、要求の前進めざし、職場集会や職場決議、決起集会などのとりくみを進めましょう。

いよいよ6月24日公示、7月11日投票で、参院選挙が行われることが、ほぼ確実となりました。昨年の総選挙では、今の日本を変えたいという国民の声が自民にノアの審判を下し、政権交代が実現しました。しかし、その後8ヵ月、後期

高齡者医療制度廃止の先送り、普天間基地問題での迷走、公約違反…と、民主党政権に、国民は、期待はずれとがっかりしています。しかし、かつて自民党政権に戻るともゴメン、ということも、最近の世論調査の結果からも明らかです。自民もダメ、民主もダメ、

政治を實現しよう
私たちが要求がかなう

政治を實現しよう
私たちが要求がかなう

いよいよ6月24日公示、7月11日投票で、参院選挙が行われることが、ほぼ確実となりました。昨年の総選挙では、今の日本を変えたいという国民の声が自民にノアの審判を下し、政権交代が実現しました。しかし、その後8ヵ月、後期

高齡者医療制度廃止の先送り、普天間基地問題での迷走、公約違反…と、民主党政権に、国民は、期待はずれとがっかりしています。しかし、かつて自民党政権に戻るともゴメン、ということも、最近の世論調査の結果からも明らかです。自民もダメ、民主もダメ、

政治を實現しよう
私たちが要求がかなう

政治を實現しよう
私たちが要求がかなう

スキューバダイビングツアー
7月28日(水)~8月1日(日)
場所 沖縄 座間味
参加費 87,000円
申し込み・問い合わせ 府職労本部まで

